

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年11月18日

計画の名称	開放感あふれる公園リニューアル事業『おおかわ』														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和04年度 (3年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	大川市														
計画の目標	大川中央公園は、市中心部に位置しており、昭和60年度に開設した総合公園であるが、開設より30年以上が経過したこともあり、公園東側には市道郷原一木線や図書館などの公共施設と住宅地などが整備され、周辺環境が大きく変革している。 このような状況において、市道郷原一木線からのアクセス性向上を図るとともに、子育てしやすい環境づくりや健康増進等の現代の社会的ニーズを踏まえ、中心市街地の貴重な公共空間となり開放感にあふれた安全で快適に利用できるようにリニューアルを行い、魅力ある都市公園づくりを目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		470	A	470	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)		(R4末)
1	大川中央公園（運動広場・テニスコート）の利用者数を増やす。 「大川中央公園（運動広場・テニスコート）の年間延べ利用者数」44,592人を45,000人に増やす。	44592人	人	45000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	大川市	直接	大川市	-	-	都市公園事業（大川中央公園）	公園整備2.5ha	大川市	■	■	■			470	5.41	-
											小計						470		
											合計						470		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大川中央公園の年間利用者数の調査を実施する。

事後評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

大川市中央公園の年間利用者数が44592人から63563人に増加した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

市道郷原一木線からのアクセス性向上、子育てしやすい環境づくり等を行い、中心市街地の貴重な公共空間としての都市公園となり、開放感があり安全で快適に利用できるようになった。

○特記事項（今後の方針等）

大川市都市公園施設長寿命化計画に基づき適切に管理を行う。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	大川中央公園年間延べ利用者数		
	最 終 目標値	45000人	リニューアル工事に伴い、子育て支援施設が新設されたため想定以上に利用者が増加した。
	最 終 実績値	63563人	